

# 坂のまち元気プロジェクト

25年度もコミュニティセンターまつり（11月1日・2日開催）に参加しました。テーマは『みんなで描こう！坂のまち』で、10の坂スケッチを利用し、多くの方に塗り絵を楽しんでもらうことを通じて、より地域に親しみを持ってもらおうという企画でした。

あわせて、事前に町五小の生徒や先生にお願いし、集まった計57枚の塗り絵の展示も行いました。

想定以上に幅広い世代の方が来場され、展示はもちろん、作者の河原井さんと一緒に、思い思いの塗り絵体験を楽しんでいただけましたと思います。

子供から大人まで皆、描き方やこだわりは多種多様でしたが、

**坂のまち玉川学園**への愛着は一緒だと実感しました。

また毎年恒例の、玉大・阿部ゼミによるふれあい坂での「坂あそび」

**じゃんけんグリコ**も無事開催でき、こちらも多くの子府どもたちが参加し盛況でした。

域学連携や多世代間交流の、よいきっかけになってくれたのなら幸いです。

担当：坂のまち元気プロジェクト  
渡辺信輔



## お問い合わせ

玉川学園・南大谷地区協議会事務局 TEL 042-724-2783

（町田市役所市民協働推進課）

玉川学園・南大谷地区協議会のホームページ

<https://tgmotikukyougikai.blogspot.jp>

代表 田代敏行 toshi\_0427tashiro\_gakuen0609@yahoo.ne.jp

事務局長 翁真由美 tgmo.tikukyougikai@gmail.com



誰もがいつまでも住み続けたい魅力あるまちに！

# 玉川学園・南大谷地区協議会 ニュース

vol.29（創刊第二十九号）2026.03

発行&発行責任者：玉川学園・南大谷地区協議会

代表 田代 敏行

## 第16回さくらめぐり・はなびら市

みんなの広場で地域が繋がる！「さくらめぐり・はなびら市」  
3月28日（土）開催

玉川学園の春を彩る恒例イベント、第16回「さくらめぐり・はなびら市」が、3月28日（土）に開催されます（雨天順延29日）。

メイン企画の「スタンプラリー」では、**3丁目子ども広場**を起点に桜の名所を巡ります。スタンプを3個集めると香ばしい焼き団子と交換できるほか、各所には「**きんじょの本棚**」も設置。お花見とともに読書もぜひ！

着物姿の子どもたちがお茶を点てる「野点」や、地元の人気作家・人気店が集うマルシェも充実。雑貨やお菓子、文芸誌、春の彩り弁当などが並びます。

さらに「みちあそび」でのチョーク遊びや、小中高生による「おむすび」の焼きおにぎり販売など、多世代が交流できる催しが満載です。午後は「ゆるつばめ会議」も実施。告知や紹介など誰でも自由に参加可能です。地域の絆が深まるスペシャルな一日、桜を愛でながら散策に訪れてみてはいかがでしょうか？

担当：はなびら市・地域活性化 瀧純男



# 第一回 玉川学園「持ってけ堂」ぶらぶらまち歩き

昨年11月15（土）、16日（日）の2日間、第1回『玉川学園「持ってけ堂」ぶらぶらまち歩き』を実施しました。

まちを自由に巡って、「よろしかったらどうぞ、持って行ってください」と各家の前に置かれている品物をタダで、ひょっとしたら掘り出し物にも巡り合える楽しく美味しい企画です。

ぶらぶら歩くことでまちの様子を知ったり、各家の人と品物を介して話をしたり、当日に合わせて屋外カフェを開催してくれる家ではお茶したり。

当日は、幸い秋晴れのお散歩日和で、多くの方がチラシ片手に各「持ってけ堂」を回ってくれていました。多くの不用品があっという間になくなりました。1丁目の加々美さんちで着付けをしてもらった美女連が着物を着て「持ってけ堂」出店者を巡るコラボ企画も行われ、まちが華やぎました。「持ってけ堂」出店者も折を見て各出店者を巡って、日用品や思いがけずの掘り出しものを見つけて、獲得品を見せ合ったりで、楽しんでくれていました。

おかげさまで大変評判が良く、事前に知っていたら出店したかったと言う声を多くいただきました。今回はNPO法人玉川学園地区まちづくりの会地域資源活性化プロジェクトの有志で実行しましたが、次回からはいただいた要望に応えられるよう準備を協力してくれる実行メンバーを募ったり開催方法を検討していくことになりそうです。

担当：木村真理子

## 玉川学園・南大谷地区協議会 2025年度総会のご案内

日時：2026年6月7日（日）13:30～15:00

場所：玉川学園コミュニティセンター 2F多目的室

懇親会：15:30～16:45（参加自由）

※詳細は、HPにてご案内予定



## 地域交通事業プロジェクト 「さくら号」の次へ「まちかど号」事業の開始

コロナ禍で玉川学園地区を走るコミュニティバス「玉ちゃんバス」が赤字に落ち入り大幅減便になったのをきっかけに、2022年秋、玉川学園町内会、NPO法人桜実会、玉川学園地区社会福祉協議会、NPO法人玉川学園地区まちづくりの会の各代表や責任者が集まり、これからの移動手段を検討する「**地域交通を考える会**」が立ち上がりました。

以後検討を重ね、2023年6月から1年間の実証実験として、7、8丁目の急な坂道や細道を小まわりする「乗合サービスさくら号」の運行をNPO法人桜実会の地域貢献活動として始めました。大変評判が良く、1日平均10人と安定利用され、今でも引き続き運行しています。

ただ、一層の高齢化独居化が進む中、「**坂と階段のまち玉川学園**」で尊厳や生き甲斐を持って住み続けられるためには、家から出やすいこと、つまり目的地に向かう移動のハードルを少しでも低くすることですが、公共交通やタクシーの担い手が減り車移動が難しくなっており、見守り型の付き添い移動支援が待たなしの状態です。そこで、さくら号の次の手段として、2024年7月より、交通弱者の通院苦難を少しでも救えるよう自宅から病院への移動をサポートする「オンデマンド・目的地限定・利用者限定・見守り付き添い」型の移動支援を検討準備してきました。いよいよ、2026年度よりNPO法人玉川学園地区まちづくりの会の4つ目のプロジェクト「**地域交通事業プロジェクト**」として、まちかど号の運行を実施します。

担当：木村真理子



玉川学園・南大谷地区協議会  
二世帯、三世帯に渡る人、明日引っ越してくる人も  
住民みんなで作る玉川学園・南大谷のまちづくり・・・  
このまちは、人が宝です